

1960年 (昭和35年)

設備投資が一段と活発化し、技術革新と消費革命が進展するなか、岩戸景気が続進した。中央には安保闘争で物情騒然としたが、その一方年末には国民所得倍増政策が発表され、世にいう倍増ブームを引き起こした。

本会の主要業務活動等

- 1月 合成ゴムの国産化に伴う輸入関税賦課の動きに反対の陳情
- 3月 日本天然ゴム品質協議会を開催（59年11月に神戸で発生した生ゴムのマーク刷り変え事件を契機として、従来の天然ゴム品質会議を改組拡充）
- 4月 第60回理事会で貿易自由化（ゴム製品の輸入自由化）問題について検討
 - 〃 第4回大阪国際見本市でラバーホール開設
- 5月 輸出入取引法の改正（アウトサイダー規制）当局に陳情
- 7月 生ゴムの検品手引き書およびRMAタイプの複製見本を会員に配布
- 9月 第3回国際ゴム品質包装会議（グリーンブックの改定）およびIRSG第15回総会（クアラルンプール）に参加者を派遣
- 10月 IRSG事務局長A.G. ポーソン氏来日、総会出席経験者有志と懇談会開催
- 11月 ゴムタイヤ等の物品税（現行5%）の撤廃方を陳情
- 12月 本会の運営と機構の改革案を検討するため「安定対策委員会」を設置
 - 〃 本会の創立10周年記念式を挙行（赤坂プリンスホテル）

ゴム産業関連事項

- 3月 日本輸出ゴム引布工業会発足
- 4月 日本輸出履物協会、カナダ向けゴム履物の自主規制を決定
- 6月 通産省、ゴム底布靴および総ゴム靴の輸取出引承認規準を告示
- 8月 関税審議会、輸入合成ゴムの国定税率を10%とすることに決定
- 9月 ソ連向けコンベヤベルトの第1回輸出成約
 - 〃 通産省、国産合成ゴムの使用促進につき通達
 - 〃 フォームラバー工業協議会発足
 - 〃 IISRP（国際合成ゴム製造業者協会）発足
- 11月 生ゴム定期相場低落（東京当限100円割れ）

政治・経済・社会情勢

- 1月 日米新安全保障条約調印
 - 〃 三井三池炭鉱無期限ストに突入
- 6月 貿易・為替自由化計画大綱決定
- 7月 第1次池田勇人内閣成立
- 9月 NHK、民放4社でカラーテレビの本放送がスタート
 - 〃 通産省、251品目の輸入自由化予定品目を発表
- 12月 第2次池田内閣成立
 - 〃 国民所得倍増計画決定
 - 〃 海外経済協力基金法公布
 - ☆ 電気冷蔵庫普及。即席ラーメン、インスタントコーヒーなどが発売され、インスタント時代始まる

参考データ

公定歩合の動き	GDP (名目/暦年)	四輪車生産台数	新ゴム消費量
7月2銭→1銭9厘	16兆100億円 実質成長率：13.3%	482千台 前年比：83.3%	223千トン 前年比：27.7%